**啓林館　総合物理（物理 704，705）観点一覧**

(1)内容の取り扱い

・基本概念や法則などの物理の系統性が重視された教科書であり，必要な用語や内容，項目がもれなく掲載されている。

・理系大学入試を明確に意識し，問いや例題，章末問題，発展の題材が選ばれている。

・「様々な運動」「熱」「波」「電気と磁気」「原子・分子の世界」の5部構成で，各部の間で共通する基本概念に配慮がなされ，物理学の全体像を把握できるような工夫が見られる。

・「物理」で必要とされる内容とともに，「物理基礎」の範囲に含まれる内容についても多くとり扱われている。例えば波動分野では，正弦波を表す要素や重ね合わせの原理などを扱っており，「物理」の学習範囲の波を表す式や波の伝わり方の学習へとスムーズに移行できる。

・前見返しでは「CHALLENGES×PHYSICS」というテーマで，くらしに関わる科学技術が視覚的にとり扱われている。また，生徒の興味を喚起する「参考」が豊富に配置され，物理が身近なものであることが伝わりやすい教科書となっている。

・自らの体験を通して法則の理解に近づくよう，本文中の必要な箇所に「実験」や比較的短時間でできる「やってみよう」が設けられ，体験的に学習できるようになっている。

・「探究」およびその前後の本文では，実践的な活動のほか，科学的な探究に必要な一連の探究の過程を具体的に記述することで科学的な手法や考え方を示しており，紙面上で探究の各過程を追体験できるようになっている。

(2)構成・分量

・重要な公式や法則は枠で囲まれ，生徒の注意を喚起させる構成となっている。

・重要な関係式の導出がレイアウトを変えて記述されており，本文の流れが見通しやすい。

・問や例題が数多く掲載されており，学習内容の理解，定着に役立つ。また，例題には解法の「指針」が，さらに例題の後には類題が設けられており，理解の定着に役立つ。

・「なるほど」では生徒がつまずきやすいところが補足説明され，学習内容の理解に役立つ。

・章末問題や力だめしにより，学習内容を確認することができる。

(3)表記・表現および指導上の便宜

・見開きの中に本文に関連する図・表・グラフがあり，授業中に何度もページをめくる必要がなく，授業の進行がスムーズになる。

・序章で「探究の進め方」が説明されており，探究を進める際に参照できて便利である。

・物理に苦手意識のある生徒にも親しみやすい紙面となっている。また，図中の矢印の色などについても，全体を通して統一された色使いがされており，理解の助けとなるよう配慮されている。

・英文コラムが取り上げられている。科学の内容の英語小論文読解が出題されることもある推薦入試にも効果的である。

・科学用語や日常会話レベルの英単語，英語の略語等を必要に応じて表記している。英語科との学習の関連の他，将来，高等教育に進み，研究職や技術職に就く上で必要不可欠な英語力の育成が企図されている。

(4)その他

・巻末資料として「微分・積分を使った物理」が収録されており，数学との学習の関連をはかり，物理現象に対する興味を高めることができるように配慮されている。